

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	サンフレンドみわ・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市門屋字野崎95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,653,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造2階建 ◇敷地面積:1,846.76㎡ ◇延床面積:674.92㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障がい者センターとの合築で事務室ほか共有部分あり		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,859	8,963	6,014	6,400	4,608
	移動児童館利用者数	437	431	465	419	418
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※11(10)	※12(10)	※12(10)	※13(12)	※12(11)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 開館時間を17:00までとし、15分間館内清掃時間としました。 ②常勤職員3名(所長は障害者センター兼務)、非常勤職員1名、合計4名(うち保育士・幼稚園教諭2名、児童厚生指導員有資格者2名)配置。 ③小学生用おたよりは、PDFにて配信することで、タブレットでいつでも閲覧可能となりました。幼児用おたよりは、児童センターと近隣の保育園、幼稚園のイベントを掲載したものとおたよりを北東部コミュニティセンターと、郵便局に置かせてもらい、移動児童館でも配布しました。また、自治会の回覧板と一緒に回覧してもらいました。館内には行事ポスターと共に掲示しました。イベントの際には、一番近隣の東児童センターにポスターを貼らせてもらいました。ホームページやInstagramで行事の様子や、案内、募集、緊急性のあるお知らせにも活用しました。岐阜市母子手帳アプリ「母子モ」でも、クラブやイベントの案内など様々な情報発信をしました。児童センター運営委員会で、活動内容、事業計画等PRしました。 ④ご意見箱と子どもなんでもご意見箱(子ども専用)をよく見える場所に設置して利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。 児童・保護者を対象にアンケートを年間2回実施しています。(下半期は1回) ご意見箱に寄せられた苦情・意見、児童館運営委員会での意見、アンケート結果は、館内に掲示するとともに、ホームページで公開し、改善できるものは迅速に対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①指定管理者マニュアルにもとづき安全対策における日常点検と委託業者による浄化槽、エレベーター、消防設備、電気設備点検等保守点検を適切に実施しました。 ②就労継続支援B型事業所による清掃を週2回実施するとともに、毎日職員が館内清掃を実施しました。トイレ清掃については、和式であるため特に床にも消毒を散布して徹底的に清掃しました。施設園庭の草刈り、落ち葉清掃などこまめに環境整備に努めました。施設内外の(カエル、蜂)などの害虫等の駆除、こうもりの糞を毎日清掃しました。おもちゃ図書館の網戸が破れて隙間から虫が入ってくるため、職員で張り替えました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等のスイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、利用者からのペットボトル及び、牛乳パックなどの廃材を再利用するなど環境に配慮した施設運営に心掛けました。 ④専門業者による野外遊具、設備点検を実施しました。安全計画による日常点検チェックシートを実施しました。月2回のAEDも点検を実施しました。また、「おもちゃ病院ぎふ」に来館してもらいおもちゃの修理を依頼しました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰いでいます。 ②大規模な修理については岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に要望を提出しました。トイレの洋式化については、来年度修繕予定となりました。幼児室の入り口やカーペット、戸棚など明るい色に塗装してもらい、ソファやベンチを置いて読み聞かせコーナーを設けるなどリノベーションしてもらいました。その際に、幼児室や、2階のホール、図書学習室の照明をLEDにしてもらいました。また、大雨のたび、2階ホール北側壁面、図書学習室南側壁面、おもちゃ図書館南側、西側壁面のクラックからの水漏れ修繕も行ってもらいました。浄化槽と、電気設備についての点検時の業者からの指摘事項について修繕予定です。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報が記載された用紙は、使用後全てシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団並びに岐阜市に迅速に報告する体制を構築しました。非常用備品の入替をしました。災害時に備えて、ヘルメット、軍手を用意しました。 消防・避難訓練を実施しました(3月11日実施)。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和7年3月4日～3月12日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和7年2月1日～3月8日 回答者数: 50人(小学: 1年8人、2年8人、3年7人、4年11人、5年6人、6年10人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 三輪南21人、三輪北6人、藍川4人、その他市内5人、市外14人 【年齢】 10代(0%)、20代(10%)、30代(66%)、40代(22%)、50代以上(2%) 【利用頻度】 初めて(8%)、ほぼ毎日(4%)、週2～3回(16%)、週1回(32%)、2週に1回(14%)、月1回(20%)、その他(6%) 【来館相手】 子・孫(100%)、友人(0%)、その他(0%) 【子・孫の年齢】 0歳(11%)、1歳(33%)、2歳(20%)、3歳以上(36%) 【来館方法】 徒歩(0%)、自転車(0%)、自家用車(100%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(32%)、広報紙・チラシ(5%)、学校(4%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(32%)、ぎふし子育て応援アプリ(5%)、ソーシャルメディア(2%)、その他(21%) 【評価】 (あいさつ) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(78%)、ほぼ満足(22%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(82%)、ほぼ満足(18%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 三輪南小35人、三輪北小10人、芥見東小2人、その他市内1人、市外2人 【学年】 小学: 1年(16%)、2年(16%)、3年(14%)、4年(22%)、5年(12%)、6年(20%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(4%)、毎日(2%)、週4・5回(18%)、週2・3回(14%)、週1回(20%)、その他(42%) 【来館相手】 ひとり(14%)、友人(66%)、兄弟姉妹(6%)、父母(14%)、祖父母(0%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(8%)、自転車(30%)、自家用車(62%)、バス・電車(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(26%)、卓球(19%)、カラム(17%)、鬼ごっこ(16%)、ボードゲーム(9%)、カードゲーム(8%)、その他(5%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> ○他の施設にも行くが、ここが一番フレンドリーで接しやすい。子どもの事も気にかけてくれるので安心。 ○違うところでは、ベイベレードがあり、子どもたちが楽しんでいたが、こちらはなく子どもが悲しそうだった。 ○いろんな活動があって楽しめています。 ○1階のトイレにもおむつ台やベビーチェアがあるとよいと思います。 ○トイレがきれいで使いやすくなると嬉しい。 →トイレは、幼児にとってもトイレトレーニングなどに、とても大切な場所であると思っています。市役所に依頼しておりますので、7年度には新しくなると思います。 ○おもちゃが増えたのは嬉しいですが、子どもの目線より高いところにおもちゃがあるので、少し取りにくそうです。 →高いところにあるおもちゃについては、低いところに置くようにします。 <児童> ○未来永久に続きますように ○ずっと続いてほしい ○パスケがしたい

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	広範で適切な情報提供・広報活動の実施（公平性・透明性②） □インスタグラムの活用(再掲②⑥) 行事の様子だけでなく、行事の案内、募集を投稿しました。当日に行うイベントの案内を投稿することで、当日の参加にも繋がりました。警報による休館など緊急のお知らせに、幅広く活用しています。このインスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。(下半期投稿回数40回、フォロワー415人) □幼児用おたより(再掲②⑥⑭) 保育所・幼稚園((三輪北・三輪南・藍川地区)と、児童センターのイベントが掲載された「子育てわくわくカレンダー」と、児童センターのイベントが記載されている「おたより」の2部を毎月発行して、北東部コミュニティセンターと、今期より新たに地元郵便局とファミリーパークに置かせてもらいました。三輪南自治会の回覧板にも一緒に回覧してもらいました。また、毎月実施している移動児童館「みわっこすくすく」に向いた際にも配布して利用に繋げています。 □幼児クラブの募集(再掲②③⑥⑭) 移動児童館(みわっこすくすく)に向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。毎回、移動児童館で訪問した際には、イベントや、クラブの案内をして利用を促しました。 □小学校のおたより(再掲②③⑥) 今年度よりPDFで配信しています。タブレットに届き、確実に見られるという利点がありました。実際にスマホを見ながら受付で、問い合わせられることも多々ありました。 □「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) 毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき「ツナグテ」の利用者にもサンフレンドみわ児童センターのPRを行うことが出来ました。 □岐阜市母子手帳アプリ「母子モ」 利用者拡大のために各イベント開催の掲載も行いPRしました。 □ホームページでの情報提供 ホームページにも行事の案内と、最新情報を掲載しました。 (下半期更新回数 11回) 業務改善や工夫（効果性③） □公式ラインの登録(再掲③⑥) 幼児クラブや、母親クラブの利用者には、公式ラインの登録をお願いしました。個人情報が出ない設定の上で利用してもらいました。お知らせや、クラブや行事の出欠席の連絡をしてもらうことがスムーズになりました。また、イベントや講座の案内にも活用して利用に繋がりました。(登録者数 50名) □小学校のおたより(再掲②③⑥) □冬季における保護者のスリッパの貸し出し ロビーや廊下はビーターで足が冷たいという声が多いため、「必要であれば貸し出します」と受付のカウンターに案内を提示した上で声掛けもして貸し出しをしています。保護者はもとより、付き添いでみえる高齢者にも大変喜ばれました。 □おもちゃ図書館の床にクッションマットを敷く 幼児室をリノベーションした際に不要になったクッションマットを入れ替え、おもちゃ図書館の床に敷きました。見た目も大変きれいになり、冬季は床からの冷たさも防げて大変喜ばれました。 □小学生のクラフト毎日実施(再掲③⑥) 子どもたちが楽しみにしているクラフトは平日毎日実施しています。また、土日一人でも来館した児童にも状況を見て実施します。 □宝探し 館内に8か所至る所に宝カードが書かれたカードが隠されています。隠された宝のカードを探して、その隠されていた場所が記されているシートにチェックを入れていきます。全ての場所にチェックが入ると「勇者カード」にスタンプを押してもらいます。スタンプが4個溜まると、メダルをもらうことができます。宝の位置は毎週変わるので、飽きることなく多くの利用者が楽しんでます。一人で遊びに来る児童や、初めて来館した利用者にも気軽に楽しめます。宝探しを目的に来館される利用者も多くみえます。幼児、小学生はもとより保護者も年齢問わず夢中になるくらい人気の遊びの一つとして利用されています。今年度は登録者数がさらに2倍以上となっているほど人気の遊びです。 □児童センターのマスコットキャラクター「みわわ」の塗り絵 児童センターのマスコットキャラクター「みわわ」と季節感ある風景を一体化した絵を職員が毎月描いて塗り絵にして子どもたちに提供しています。子ども達が塗った塗り絵は玄関に掲示しています。玄関の一番見やすいところに貼ってあることにより「みわわ」の認知度も高まり、「みわわ」人気も続いています。 □幼児クラブの募集(再掲②③⑥⑭) □児童との関わり どの職員も、卓球、バドミントン、バレーボールなど常に児童と関わっています。時には、園庭で鬼ごっこをします。鬼ごっこは児童には大変人気です。一人で遊びに来た児童にはその児童に合わせて、ボードゲームをしたり、時には行事で使う道具など製作のお手伝いをしてもらいます。また、気になった児童については職員全員で共有して対応を統一しています。 □廃材を使用した手作りのおもちゃ(再掲③⑤) 幼児クラブの主活動で、楽器遊びとして使う、でんでん太鼓と太鼓をミルク缶などで手作りしました。また、お店屋さんごっこで使用した、消防車、救急車、ホットドッグ、サンドウィッチ、クリームソーダーは、牛乳パックやラップの芯、ペットボトルの蓋などを使用して作りました。本物そっくりと完成度が高く喜ばれました。お土産として自宅に持ち帰ってもらいましたので、幼児が家でもお気に入りのおもちゃとしていつまでも遊んでいると、保護者から聞きました。幼児だけでなく小学生にも人気があるのは、玄関ホールに設置してある段ボールで作った大きな家です。中に入って遊べる大きさで、自由に出入りしたり、家の外側や中側に絵を描いたり、シールを貼ったりと自由に楽しんでいます。 □パパさんクラブ 父親の利用が多い土曜日に毎月1回午前に開催しています。幼児クラブで行うような活動内容ですが、父親だけでなく、両親、祖父母などが参加されています。土曜日には、母親以外の父親、祖父母が乳幼児を連れての利用が多いので、喜ばれています。 □岐阜女子大学子ども発達専修の学生によるエブロンシアター(再掲③⑭) 2回公演してもらい幼児の親子が、楽しんでいました。 □リノベーションオープニングセレモニー(再掲③⑭⑮) 幼児室をリノベーションしてもらいましたので、幼児親子だけではなく、地域の方にも施設を知って頂くためにイベントに招待しました。自治会会長、主任児童委員、隣接する中学校校長が参加してくれました。イベントの前には、三輪中学校の音楽部の生徒による合唱でオープニングセレモニーの幕を華やかに開けてもらいました。その後、自治会会長2名によるテープカットを行い盛り上げてもらいました。
--------------------------	---

今期の取組み
に対する評価

□園庭でコンビカー、三輪車を用意
園庭でも自由に遊べるように、コンビカーを2台と、三輪車1台を用意しました。公園感覚で外でも気軽に遊べるようにしました。

□絵本の充実(再掲③⑤)
事業団内の児童館の絵本を毎月ローテーションと、メディアコスモスでの団体カード利用による本の充実を図っています。毎月、入れ替わるたびにどの児童館の本であるかをわかりやすくポップを作って紹介しています。入れ替わるたびに楽しみにされています。年度末には、絵本専門店でおすすめの絵本を紹介してもらいたくさん購入して絵本の充実を図りました。

□幼児室の白板を利用して、「譲ります」「譲ってください」のコーナーを作りました。実際に、バウンサーの「譲ってください」に対して2件の「譲ります」の返答がありました。

□クッキークラブ(未就園児)
登録制ではないため、当日来館した乳幼児に参加を促し、喜ばれました。登録制のクラブの加入のきっかけにもなりました。手形、足形や季節のクラフトを行いました。避難訓練も行い、その後で消防車と写真を撮りました。

□恵光学園の職員による乳幼児の発達や、子育ての悩みについての相談会(再掲③⑤)
幼児クラブと一緒に活動して子どもの様子を見てもらった上で、クラブ後に子育てや発達についての悩みのある母親の相談会を設けました。専門の職員による相談会には多くの母親が個々の悩みについて相談に応じてもらいました。

□土曜日のイベント
風船バレー、面白記録会、クリスマスケーキ作り、お正月遊び、大型トランプ、アクアビーズ作り、卓球キングなど多くのイベントを企画して、誰でも利用ができるように楽しんでもらいました。

□トイレの前におむつ入れを設置して利用してもらっています。

□幼児の昼食利用について
幼児クラブの後に、1時間遊戯室で昼食をとれるように解放して利用してもらっています。

□母親クラブ(再掲③⑤)
普段体験できないような講座「しめ縄作り」「己書」「ゆらゆらおひなさま」「ヨガ教室」「コシチャイム」を取り入れました。幼児は職員が託児をして、気分転換を図ってもらいました。

新規事業(行事)等の実施

□ハロウィンパーティー
小学生がたくさん参加してくれました。ゲームやクラフトを中学生のボランティアと一緒に楽しみました。フォトコーナーでは、職員が作成した帽子やマント、三輪中のフリースペース利用の生徒が作成した仮面をつけて写真を撮り、後日、缶バッジにしてプレゼントしました。

□ディンプルアート講座の体験
講師の先生のもと専門的な指導を受けました。車のフロントガラスの廃材を利用した特殊な絵の具を使用して、キーホルダーに色を載せていくという体験を行いました。土曜日の午後に行ったので、偶然児童センターを利用した校区外の小学生は、このような体験ができたことを大変喜んでいました。

□「ポッチャ」「ラダーゲッター」の体験
レクリエーション協会から講師を派遣してもらい、初めて体験する「ポッチャ」と「ラダーゲッター」を教えてもらいました。幼児から小学生、中学生までの幅広い年齢層がチームを組んで対戦して盛り上がりました。終了後は、指示されなくとも、全員が用具を片づけてくれました。

□読み聞かせボランティア「おはなしらっば」
月1回来てもらい、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、エブロンシアター、手遊び等盛りだくさんの内容で幼児を楽しませてくれます。毎回楽しみに利用される幼児さんも定着してきています。

□年末大掃除
年末におもちゃの消毒を小学生にしてもらいました。幼児から小学生までのおもちゃを1個ずつ丁寧に拭いてくれました。ご褒美にビンゴ大会で、寄附で頂いたぬいぐるみや、障害者センターの利用者が作ってくれた組みひもキーホルダーや折り紙などを景品として渡しました。

□ちびっこまつり
幼児用のおまつりにボランティアとして、小学生にお手伝いしてもらいました。事前に準備としてポスター作りから、前日のセッティングを行ってくれました。当日は、幼児に合わせた声掛けをしてくれたり、それぞれのゲームでは幼児に合わせて楽しめるように声掛けをするなど、優しく接してくれる姿がみえました。おまつりにはそれぞれのゲームの後に工夫を凝らした景品をプレゼントに用意しました。景品として、乳幼児用のお菓子の他に手作りの物も用意しました。ラムネを1袋ずつフィルムに包み、毛糸でつないでネックレスにしたものや、牛乳パックで作った動く車、ぽっくり、廃材を利用したデンデン太鼓など家でも遊べるおもちゃを用意しました。ゲームも幼児が喜んでくれるように工夫をしました。ペットボトルを使用したボーリングのピンには、折り紙でキャラクターを貼り付けたり、わなげの輪を入れるところには、色水を入れてカラフルにしたペットボトルに、可愛らしい動物を色画用紙で作ったものを貼り付けて喜んでもらえるような工夫をしました。職員手製のガラガラボンでの抽選会では、寄附で頂いた大型ぬいぐるみ、離乳食セット、ミニカーなどのおもちゃや、障害者センターの利用者が作った手作りの手芸品などを景品として利用しました。

□お茶会(茶道講師ボランティア)(再掲③⑭)
日本古来から伝わる文化的体験をしてもらうために講師を招いて、実際にお抹茶を頂く作法について教えてもらいました。将来、お抹茶を頂く機会があるときに、経験があると役立つのではないかと思います。子どもたちが正座をし、手をついて頭を下げて、両手でお抹茶茶碗を丁寧に持ってお抹茶を頂く姿は印象的でした。

□自治会長さんによる「将棋教室」(再掲③⑭)
小学生に将棋を体験してもらうために企画しました。初めて将棋をする児童が大半で駒の動かし方の基本から教えてもらいました。

□岐阜大学児童文化人形劇研究会「コロポ」による人形劇鑑賞会(再掲③⑤⑭)
幼児だけでなく、三輪北小学校の1年生を招待しました。事前に学校に話をしたところ、人形劇を見る機会はないのでぜひ見せたいと喜ばれました。当日は楽しんでた様子が伺えました。人形劇を鑑賞する前には、幼児と触れ合う時間も設けました。

□高齢者による「マジックショー」(再掲③⑭)
マジックをしてくれる高齢者のボランティアに来てもらいました。マジックを見る機会は初めてで大変興味を持って見ていました。春休みであり多くの幼児、小学生が楽しみました。マジックショーの後には職員が制作したガラガラボンで、抽選会を行いました。障害者センターの利用者が制作した作品や、利用者からの寄附の小物を景品としました。

□お城講座
春休みに、専門知識をもつ職員によって実施しました。小学生だけでなく、中学生、中学の教職員、地域の皆さんにも声をかけて参加を募りました。

□卓球教室ボランティア(再掲③⑭)
春休みには、地元の高齢者による卓球教室を実施しました。卓球は多くの小学生が利用するために、ラケットの握り方や体の向きなど初歩的なことをきちんと教えてもらいました。また、二日間連続で教室を行うことで、卓球の上達も見られました。

□南京たますだれ体験
南京玉すだれを鑑賞した後で、実際に玉すだれを使って教えてもらいました。子どもたちにとって良い経験になったと思います。

今期の取組み
に対する評価

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

□サイエンスショー

小学生ボランティアを募集して、司会進行してもらいました。人前で話すことにも自信をもってもらいたいと思っていますが、みんな喜んで引き受け上手に話してくれました。

□行事の後の片づけ

小学生ボランティアが行事で使用した道具などを一緒に片づけるのを手伝ってくれました。

□年末の大掃除

小学生が、幼児から小学生までのおもちゃを1個ずつ丁寧に拭いてくれました。

□落語大会

子どもたちからの提案により落語を行いました。企画、ポスターづくり、参加への勧誘とすべて子どもたちがやってくれました。

□ちびっこまつり

幼児用のおまつりにボランティアとして、小学生にお手伝いしてもらいました。事前に準備としてポスター作りから、前日のセッティングを行ってくれました。当日は、幼児に合わせた声掛けをしてくれたり、それぞれのゲームでは幼児に合わせて楽しめるように声掛けをするなど、優しく接してくれる姿がみえました。

□子どもたちが自らルールを考えた遊び

・一人で卓球のラケットにピンポン玉を何回連続して上に打ち続けられるかという回数を競うものと、アスレチックゲームというボードゲームのゴールをタイムで競うランキング表を玄関ホールに貼りだしています。このランキング表は子どもたちが自分たちで作りました。上位10名までの名前と記録が貼りだされており、上位に入ると常に名前が入り替わりまします。自分の名前がランク外になったり、順位が下がったりすると再度チャレンジして大変盛り上がりを見せています。
・児童の発案によるゲームで、ルールから発案者の名前を記入した紙が貼りだされています。まな板に駒を乗せて何秒まで落ちないで乗せられているかを競うものです。ルールの説明には発案者のゲームをするにあたっての上達の工夫がユニークな表現で記入されています。このゲームも常に競い合っており子どもたちはチャレンジを続けています。

利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映（効果性④）

□利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、児童センターの運営に反映できるものはすぐに実行、改善しました。

トイレに関する要望については、市役所に依頼しており、その旨利用者に説明してご理解頂いています。また、前回のアンケートにあった「幼児室におもちゃが少ない」という要望については早速におもちゃを増やしました。その結果、今回のアンケートにはおもちゃが多いという意見が多数ありました。

□ベンチとキャンピングテーブルの活用(再掲④⑤)

今までは、玄関外の古いベンチでお菓子を食べたり遊んだりしていました。館内でお菓子を食べたいという意見もあり、館内ではないけれど、少しでも楽しくお菓子が食べれるように新しくベンチを購入したので子どもたちは大喜びで使っています。また、三輪北小学校から寄附でキャンピングテーブルセットを頂いたので、人工芝に設置して、子どもたちはお菓子を食べるだけでなく、楽しそうにテーブルでおしゃべりをして遊ぶなど、楽しむ場所として活用しています。また、子どもの付き添いでみえる保護者が、荷物を置いたり、ベンチに腰掛けて子どもの遊ぶ姿を見守られるなど多く活用されています。

□雨天時の玄関外のタイルの上のマット設置(再掲④⑤)

雨天時は玄関外のタイルが濡れて滑りやすく危険であるため、今までは注意書きをしたものを掲示した上で、直接言葉がけをしていましたが、滑る危険はあるため、タイルの上にマットを敷いて滑らない工夫をしました。

□新しいおもちゃについては、子どもたちからの「何でも子どもご意見箱」の意見を参考に、職員で検討して購入しました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

□小学校の不登校児が来館することがあります。小学校と連携を取り、授業時間内に利用の場合は、学校に連絡した上で、保護者の送迎で利用するという約束にて利用しています。児童館では楽しそうな姿を見ることができます。その際には、クラスメートやそれ以外の児童と遊ぶ姿も見られています。母親からはこういう場所があって大変ありがたいと話されています。

□三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲④⑭⑮)

ハロウィンパーティの〇×クイズで使用する〇×の扉を依頼したところ、想像以上の素晴らしい出来栄の扉を作成して届けてくれました。また、宝探しのメダルに貼る折り紙も定期的に作成して届けてくれます。その際には、担当教師と卓球を楽しまれています。このような活動があったからこそ、修学旅行に参加できた、宿泊体験に参加した、テストを受けたなど、以前はできなかったことができるようになったと担当教師から聞きました。

□気になる子どもについては、職員で情報を共有して対応を統一しています。それ以上に問題があるというケースにおいては、各小学校、中学校とも情報を共有して見守っていく体制が出来ています。

□他施設の事例研究

今年度より、当事業団が管理する児童館・児童センター9館のスキルアップ研修会で、他施設で実際に起きた事例を聞くという体制を作りました。配慮を必要とする子どもが利用された際、適切に対応できるようにしました。研修での内容は施設内で報告して情報を共有しました。

移動児童館の実施(仕様書別記4参照)（効果性⑤）

実施回数: 11回(延べ387人)

□小学校、親子ふれあい教室など6団体計11回実施しました。

・みわっこすくすく6回 279人

・三輪南 親子ふれあい 12人

・三輪南インリーダー クリスマス会 27人

・三輪北小 託児 8人

・三輪南小 託児 26人

・福富子供会 ゲーム 35人

利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施

□絵本の充実(再掲③⑤)

□母親クラブ(再掲③⑤)

□恵光学園の職員による乳幼児の発達や、子育ての悩みについての相談会(再掲③⑤)

今期の取組み
に対する評価

□幼児室リノベーション
ドア、カーベット、戸棚などを明るい色に塗装してもらいました。ソファやベンチを置いて読み聞かせができるコーナーを設けたこと、また、おもちゃ図書館と幼児室を入れ替えて広がったことが、新しい幼児室として喜ばれました。また、絵本コーナーには、メディアコスモスで借りてきた絵本や、事業団の他の児童センターの絵本のローテーションの絵本も加わり、どこかの児童館の本であるかなど、わかりやすくポップにて手に取りやすい工夫をしています。特におすすめの絵本には、表紙が正面に見えるような工夫をして、手に取りやすくしました。新しい絵本や、今話題になっている絵本を中心に購入して、絵本コーナーの充実を図りました。また、照明もLEDにしてもらい大変明るくなりました。

□廃材を使用した手作りのおもちゃ(再掲③⑤)
□岐阜大学児童文化人形劇研究会「コロッポ」による人形劇鑑賞会(再掲③⑤⑭)
□ベンチとキャンピングテーブルの活用(再掲④⑤)
□雨天時の玄関外のタイルの上のマット設置(再掲④⑤)

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 (効果性⑥)

□一番近隣である東児童センターに、イベントの際にポスターを貼ってもらい利用者増に繋がりました。
□幼児用おたより(再掲②⑥⑭)
□幼児クラブの募集(再掲②③⑥⑭)
□インスタグラムの活用(再掲②⑥)
□「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
□幼児クラブ申し込み連携
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら定員から漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。
□小学校のおたより(再掲②③⑥)
□公式ラインの登録(再掲③⑥)
□毎月のイベント情報の伝達
わかりやすく館内の掲示板や受付の見えやすい場所にも掲示した上で、声掛けもして、参加者を募りました。

□春休みの行事
卓球教室、抹茶体験、マジックショー、南京玉すだれ、お城講座など春休みなど利用者が多いときに集中して行事を組むことで、多くの利用者を楽しんでもらいました。お城講座は、中学校にも案内をして、中学生も利用してもらいました。
□平日毎日行っているクラフトは3時から4時まででしたが、まだ児童が児童館に来れない時間帯であったため、3時15分から4時15分までと時間を変更することで、より多くの児童が参加しています。(再掲③⑥)
□初めて利用する乳幼児を抱える利用者には、幼児クラブやイベントの案内をして、参加に繋がりました。

職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加 (安定安全性⑫)

・10月パワーハラスメント研修 事務局
・10月けん玉研修 日光児童センター
・11月読み聞かせの基本 長森児童センター
・12月不審者対応 日光児童センター
・1月虐待とその防止について考える 事務局
・2月子どもの人権について 事務局

地元の諸団体との連携、交流 (貢献性⑭)

□幼児用おたより(再掲②⑥⑭)
□幼児クラブの募集(再掲②③⑥⑭)
□青少年育成市民会議(家庭部会)
親子ふれあい教室を実施しました。
□三輪中学、三輪南小の不登校児について
対応についてその都度協議しています。
□三輪南小学校 ウォークラリー大会
中継点として参加しました。トイレ休憩など一休みする場所としての利用をしてもらいました。小学生、付き添いの保護者、担当教員が利用されました。
□三輪中学校ディスカバリーに参加
三輪中学校で、地域にある施設や、地元で活動する人々について生徒が体験したり学ぶという行事において、講師依頼がありました。児童センターの仕事内容を知ってもらうために、小学生にクリスマス用クラフト「スノードーム」を作ることを教えるという体験をすることで、児童センターの仕事の一部を体験してもらいました。その後、「地域における児童センターの役割」というテーマで講義をしました。
□リノベーションオープニングセレモニー(再掲③⑭⑮)
□行事としての他施設の活動の場
恵光学園行事の際雨天時の活動の場として、利用申請がありました。また利用にあたって、おもちゃの配置、飲食の場の確認など細かな部分までの打ち合わせをしました。(下半期雨天ではないため利用はなし)
三輪北保育園が遠足の場所として利用してもらいました。
□近くの放課後ディサービスが平日も含め、頻繁に利用されています。(11回84人利用)
□北保健センターにて、「子育て地域連携会議」出席
地域での子育ての連携を図るために、主任児童委員、保健師、エール岐阜の職員に、児童センターの役割や活動内容を伝えて、協力体制の強化に繋がりました。
□藍川小学校の「感謝の会」「あいかわDEランチ」「卒業式」「藍川小学校・藍川北中学校閉校式」に招待(再掲⑭⑮)
今年度より藍川小・中学校との連携することが多くなり、藍川校区の繋がりを深めることができました。
□三輪中学校との関係
土曜日のイベントで駐車場が満車の場合は、三輪中学校に依頼して職員の車を置かせてもらいました。また、運営委員会や、お城講座など、プロジェクターを三輪中学校に借りています。すぐ隣の公共施設としてよりよい関係が築けています。
□三輪北小学校からの寄附
三輪北小学校より、寄附でキャンピング用のテーブルを頂きました。
玄関の外のベンチのところに設置して、子どもたちの憩いの場として活用しています。
□サイエンスショーに三輪南小学校の校長先生が参加して下さり、いつも以上に盛り上がったものになりました。

今期の取組み に対する評価	地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用 ☐「サンタクロース」「将棋教室講師」 自治会長に、幼児クラブのサンタクロース役を依頼して快く引き受けて下さり幼児との触れ合いに協力してもらいました。また、小学生には、「将棋教室」として将棋の駒の動かし方から教えてもらいました。 ☐卓球教室ボランティア(再掲③⑭) ☐茶道講師ボランティア(再掲③⑭) ☐高齢者のボランティアによるマジックショー(再掲③⑭) ☐岐阜女子大学子ども発達専修の学生によるエブロンシアター(再掲③⑭) ☐岐阜大学児童文化人形劇研究会「コロッポ」による人形劇鑑賞会(再掲③⑤⑭) ☐「おもちゃ病院ぎふ」によるおもちゃ修繕をしました。(隔月) ☐障がい者就労継続支援B型事業所による館内清掃(週2回) ☐リノベーションオープニングセレモニー(再掲③⑭⑮) ☐市長訪問 事前に子どもたちと、利用される保護者からのメッセージをタブレットに録画して、市長に見てもらいました。来館していた児童に市長と話す機会を設け、質問やサインに応じてもらうなど短い時間で市長と関われる有意義な時間となりました。 ☐藍川北中学校の職場体験の場 幼児クラブのお手伝い、おもちゃの清掃、宝探しのメダルにする折り紙作成をしてもらいました。 ☐中学生のボランティア 小学生を対象としたハロウィンパーティに、中学生をボランティアに依頼しました。事前のポスターづくりと当日のお手伝いとして、クラフト、ゲーム、〇×クイズなどを担当してもらい盛り上げてもらいました。 ☐三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲④⑭⑮) 地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性⑮) ☐岐阜市社会福祉協議会主催の子育てサークル(みわっこすくすく)に協力しました。 ☐三輪北文化祭に出展 今まで作った作品を展示して、児童センターの紹介をしました。 ☐子ども110番の家の登録 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。 ☐岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 清掃活動は、毎月15日の朝全職員で実施しています。 ☐藍川小学校の「感謝の会」「あいかわDEランチ」「卒業式」「藍川小学校・藍川北中学校閉校式」に招待(再掲⑭⑮) 地元の団体・住民との協働事業等の実施 ☐三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲④⑭⑮) ☐リノベーションオープニングセレモニー(再掲③⑭⑮)三輪中学校の卒業式に参列しました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	☐暑さ対策として、タープを設置し、水遊びや玄関先でプール遊びをしたり、幼児、小学生合同のなつまつりを実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 →今期も寒さ対策として、おもちゃ図書館の床にフロアーマットをひいたことで床からの寒さを解消させました。また、床が冷たいので、付き添いの保護者にはスリッパの貸し出しを多くしました。また、ちびっこまつりには小学生がお手伝いをし、幼児に優しく接する姿も見られました。 ☐近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、夏祭りの出し物を製作してもらう等、子どもの居場所づくりにも取り組んでいる。 →今期も引き続き、ハロウィンパーティで使用するものを製作してもらいました。また、日々使用する宝探しのメダルに張り付ける折り紙も制作してもらい、定期的な利用に繋がっています。その際には担当教員と卓球を楽しまれています。 ☐近隣小学校の夏祭りに参加したり、地域ボランティアや障害者センターによる講座を開催する等地域との連携・交流にも取り組んでいる。 →今期は地域ボランティアとして、将棋、卓球教室、お茶会、マジックショー、読み聞かせを依頼して、子どもたちに多くの体験をしてもらいました。また、自治会長に依頼して、幼児クラブのサンタクロースや、児童に将棋を教えてもらいました。
今後の取組み	☐地域のつながりを大切にして引き続き、ボランティアの活用により、子どもたちに様々な体験をさせていきます。 ☐子どもの主体性を育む取り組みをしていきます。

●所管課の意見

- マスコットキャラクター「みわわ」を活用し、児童センターのイメージづくりに取り組んでいる。
- 利用者が多いときにイベントを行い、利用者増につなげるといった工夫を行っている。
- 地域の児童センターとして地域変更権に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・中学校の職場体験の場を提供するなど、子どもたちが他者のために取り組む機会を創出し、子どもが自己肯定感を高めることにつながる取組みを行っている点は評価できる。
- ・館庭にテーブルセットを設置し、子どもたちがおしゃべり等を楽しむ場所として活用するなど、子どもの居場所としての機能充実を図っている点は評価できる。
- ・業務においては予算内に収めることを意識し取り組んでいただきたい。